

## 「御下賜金」を拝受

津久江 一 郎

新聞によると、「瀬野川病院、よこがわ内科・循環器科クリニック、デイケア施設など18施設を運営する医療法人せのがわは、平成22年度の「御下賜金の拝受団体」に選ばれ12月17日に伝達式が行われた。」とある。

御下賜金とは「天皇陛下から12月23日の天皇誕生日に際し、社会福祉事業奨励の思し召しをもって優良な民間社会福祉施設や団体に金一封を下賜されるもの。」だそうです。

「社会福祉法人がほとんどで、今回のように民間の医療法人が拝受することは全国で初となる。」と書いてあった。

実際は、市庁舎まで受け取りに来るようにとの唐突な連絡に、小生としては何も知らなかったので「くれる物があれば持って来なさい」といささか臍を曲げた。

ところが、陛下からの伝達式なので式典の設定をして欲しいとのこと、まず紅白の幕を張りめぐらして下さい、次いで式次第を清書

すること、御下賜金伝達式という垂れ幕を用意すること、出席者は法人役員及び管理職の人達と、社会復帰施設で訓練しているメンバーの方々の席を用意すること、それから広島市障害福祉部長の祝辞となる。

これを拝受した小生は代表して「全国66団体の中で医療法人では全国初の拝受団体に選ばれたことは大きな喜びで励みになります。栄誉に恥じないようにこれからも運営していきたいと思います。」と返礼することになった。

こうして式はこれで目出度く終了し、職員皆で紅白饅頭を食し、一卷の終わりとなった。

後に職員一同より病院玄関前庭に何やら珍しい“多行松（たぎょうしょう）”を記念として頂戴することになった。これで前庭にはちようど松・竹・梅と三種類の草木が揃って目出度し目出度しとなった次第です。

（つくえ いちろう：瀬野川病院）